

大濠公園能楽堂開館三十周年記念公演

乱能

九州では十二年ぶりの乱能！

平成29年
2月26日(日) 乱能 2日目
午後1時開演(正午開場)



- 地下鉄でお越しのお客様
- [S-1] 大濠公園駅から徒歩7分
 - [S-2] 唐人町駅から徒歩7分
- 西鉄バスでお越しのお客様
- [B-1] 大濠公園バス停から徒歩3分
 - [B-2] 黒門バス停から徒歩3分

乱能 演目

高砂

仕舞

古田寛二郎

安宅

狂言

舟慶 飯田清一

大鼓 井内 政徳
小鼓 山口剛一郎

笛 久保誠一郎

附子

舞囃子

太郎冠者 相原 一彦
次郎冠者 森田 徳和

主人 浦 政徳

羽衣

一調

天人 野村 万祿

大鼓 多久島法子
小鼓 木月 晶子

太鼓 菊本 澄代
笛 久貫 弘能

笠之段

能

謡 飯富 章宏

船弁慶

義経 幸 正佳

静 白坂 保行
知盛 吉谷 潔

舟慶 白坂 信行
前後之替 吉任 講
後見 河原 康生
野村 万祿

大鼓 前今村 嘉太郎
後森本 哲郎

太鼓 鷹尾 章弘

〔終演予定 午後四時〕

乱能

能楽界で祝賀の際に演じられるもので、舞台上では絶対にはかきかたがたの職制の能の役であるシテ方、ワキ方、囃子方、狂言方を全部入れ替えて演じます。本公演とは違った演技をお楽しみください。

◆ 船弁慶(ふなべんけい)

義経は、平家追討に武功を立てますが、やがて兄頼朝から疑いをかけられ、追われる身となります。義経は、舟慶と共に、摂津国大物浦から西国へ落ちようとしています。静御前も、こまてついで来ますが、舟慶の諫めて、都へ帰すことになりました。静は義経に逢って直接返事をするといいです。義経の宿に、来た静は、直接暗殺を言い渡され、従わざるを得ず、泣き伏します。名残りの宴が開かれ、静は、義経の不運を嘆きつつ、別れの舞を舞います。やがて出発の時となり、涙ながらに一行を見送ります。

義経一行の船が海上に出ると、にわかには風が変わり、激しい波が押し寄せて来ます。船頭は必死に船をあやつりますが、吹き荒れた海上に、西国で滅亡した平家一門の七霊が現れます。中でも平知盛の怨霊は、自分が沈んだように、義経を海に沈めようと長刀を持って襲いかかります。義経は少しも動ぜず戦いますが、舟慶は押し隔て、数珠を挿んで祈ります。祈られた七霊は、しだいに遠ざかり、ついに見えなくなります。



大濠公園能楽堂開館三十周年記念公演

◇主催/福岡県・西日本新聞社・大濠公園能楽堂・西日本新聞イベントサービス ◇後援/福岡県教育委員会・福岡市・福岡市教育委員会
◇協力/公益社団法人能楽協会九州支部 ◇特別協賛/共栄ビル管理(株)

大濠公園 能楽堂

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1番5号 TEL 092-715-2155 FAX 092-715-2244